

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200082
事業所名	グループホーム たのしい家名古屋南

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し自治会長や回覧板等で地域の情報を得ている。地域行事も再開され地域の本地祭りに参加したり、事業所で日々使用する古紙を近隣の方から提供していただくなど快い関係を築いている。また、コンビニや薬局、洋菓子店や和菓子屋、お米屋、お弁当など近隣の商店を利用して地域の一員として交流している。プレスレットやフラワーアレンジメントのボランティアの受け入れを再開している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は2か月に1回、入居者家族、自治会長、リブクリニック職員の参加により開催している。いきいき支援センターの職員に案内は出しているが参加は得られていない。事業所の運営状況や事故報告、サービスの実施状況、身体拘束委員会の報告や福祉用具専門相談員から最新の福祉用具情報やシューズの説明などを議題として活発な意見交換をしている。出された意見や提案はその場で話し合ったり職員会議などで協議しサービスの向上に活かしている。運営推進会議に参加できない家族や関係者にも議事録を送付している。	評価 ×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政担当者が認定調査に来所した折に情報交換したり、必要に応じ電話やFAX、メールで連絡を取り合っている。認定書類や申請書類の代行業務や報告業務、事例相談等で担当窓口を訪れた際には事業所の状況を伝え、指導や助言を得るなど、協力関係を築いている。また、行政や地域包括支援センターから案内のある研修は職員に紹介している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々のケアの中で意見や要望を聴き、申し送りノートに記録し共有している。家族からは面会時、外出や介護計画の見直し時に聞くようにしている。また、来訪できない方は電話で聞くように努め運営に反映させている。家族には「サービス状況報告」として入居者の暮らしぶりを写真やコメントを添えて、毎月お便りを届けている。フロアの入り口には意見箱を置き意見が述べやすい環境を整えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価 ○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	×	×	○	×						